

遠隔による自立活動の指導の実施に係るチェックリスト

本チェックリストは、各学校における取組の成果を踏まえ、遠隔（オンライン）を活用した自立活動の指導及び相談支援を行う際の確認事項を整理したものです。

遠隔（オンライン）を活用した取組を計画、実践される際にご活用ください。

記入者

■取組内容（概要）

■遠隔を活用した実態把握や外部専門家の参画による相談支援に関して

No.	確認内容	チェック	詳細
記入例	オンラインを活用して関係者間で実態把握や情報共有を行うことについて、本人・保護者に説明し、了承を得ている。	○	・○月○日に、本人、保護者に概要を説明し、了承済み。
1	オンラインを活用して関係者間で実態把握や情報共有を行うことについて、本人・保護者に説明し、了承を得ている。		
2	内容に応じて、オンラインのみで実態把握を行うか、対面とオンラインを組み合わせるかを検討している。		
3	個人情報保護に配慮しつつ、より実態把握がしやすくなるよう、撮影の向きや距離、カメラの台数等について検討している。		
4	外部専門家の参画を得る場合、取組の目的や具体的な進め方等について、事前に共通理解が図られている。		
5	ビデオ会議ツール（Zoom、Teams 等）を活用して、外部専門家や関係者と協議を行う場合、協議内容の共通理解が図られるよう、画面共有での資料提示やホワイトボードの使用等により、協議の経過や共通理解事項が可視化されている。		

■遠隔を活用した自立活動の指導と評価に関して

No.	確認内容	チェック	詳細
1	対面とオンライン双方のメリットを踏まえ、対面での指導を中心に行う内容と、オンラインでの指導を中心に行う内容を整理している。		
2	授業を円滑に進めることができるよう、ネットワーク環境やカメラ、マイクの使用、機器の操作方法等について事前にリハーサルをするなど、確認を十分に行っている。		
3	オンラインを活用して、画面上で教材を提示する場合、教材の見やすさを考え、使用する教材の色、大きさ等や提示の仕方について配慮している。		
4	評価をより充実させるため、関係者の了承の上で、指導の様子等をレコーディング（録画）して、指導記録を蓄積している。		
5	オンラインを活用して学習することに関して、機器の使用感や学習上の気付き等について対象児童生徒に確認し、指導・支援の改善に反映させている。		
6	オンライン上で使用する教材や画像、映像等について、著作権上、使用に問題がないことを確認している。		